



かわい

令和2年6月1日



<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kawai/>

学校再開！今、自分にできることを。

副校長 池田 千穂

新型コロナウイルスの影響で世界中が緊急事態となる大変な状況となりました。休校中、各ご家庭では様々なご苦労やご心配があったことと思います。皆様方には急なご連絡やお願いをすることが多かったにも関わらず、ご理解、ご協力くださりありがとうございました。「先生方も大変だと思いますが頑張ってください。」たくさんの方から温かい言葉をいただき励まされました。心より感謝申し上げます。

子ども達のいない学校の校舎はなんだか寂しそうに見えました。校庭には雑草があちらこちらに芽を出していました。コッコの鳴き声も元気がないように感じました。私たちもこんなに長期間の休校は経験がなく「子ども達と会えないことが寂しい。」「はやく子ども達に会いたい。」という声がたくさん聞かれました。

「置かれた場所で咲きなさい」の著者渡辺和子さんの言葉で、私が大切にしているフレーズがあります。

どうしても咲けない時もあります。雨風が強い時 日照り続きで咲けない日

そんな時には 無理に咲かなくてもいい。 その代わりに 根を下へ下へと降ろして 根を張るのです。

次に咲く花が より大きく 美しいものとなるために。

今はこの「無理に咲かなくてもいい」時、こういう時は、今できることを粛々とやるしかないのでしょうか。私の気持ちとはうらはらに校庭で美しく咲き誇る花々を見ながらそう思っていました。

川井小の教職員も「根を張って」いました。「子ども達が学校に戻ってきたら、学校目標『感動、わくわく、いきいき』学校生活が送れるように。」そのことを考えていました。今年度から新学習指導要領が完全実施となりました。休校によって予定通りに学習を進めることはできませんが「本当に子ども達に着けたい力は何か。」「子ども達の一番伸ばしたい、大切に育てたいことは何か。」など今後の教育活動について真摯に向き合いました。「協働」や「交流」を大切にしている教育現場では、感染予防の点から気を付けなければならないことが多々あります。しかし、子ども達の「感動、わくわく、いきいき」をつくるのに大切なのは人とのコミュニケーションで、中でも「友だち」の存在です。自粛期間に「友だち」の存在の大きさを子ども達は感じたことと思います。「はやく友だちに会いたい。」「一緒に〇〇したい。」とされていると思います。その思いを大切にしながら活動を見直しています。



その反面、友だちに久しぶりに会うことが不安な子もいると思います。子ども達は表現できない、見えないストレスや不安を心に抱えていることがあると思います。学校が始まることで、それが大きくならないように、解消されるように、ていねいに子ども達を見つめ対応していきたいと思います。また、このような状況で差別などから起きる残念な出来事も報じられています。学校では相談できる環境を整え、いじめや差別に対する指導も行っていきます。

オリンピック延期が決定した時、オリンピック・パラリンピックの選手たちは複雑な気持ちだったと思いますが、インタビューでは前向きな発言も聞かれました。「また、新たな目標がたてられることをポジティブにとらえています。」「今、自分にできることを積み重ねていきます。」行事や学習活動の大幅な見直しを余儀なくされているため、子ども達の楽しみにしていた活動や目標がなくなってしまうことが考えられます。オリンピック・パラリンピックの選手の話のように、子ども達が新たな目標をもち、楽しさを感じ、意欲的に取り組めるよう川井小学校職員一同、努めてまいります。

保護者や地域の皆様にもいろいろな場面でたくさんのご支援いただくことと思います。どうぞ今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。